

私を応援していただいた村議会議員の皆様には、選挙対策本部の立ち上げ、自民党、公明党、連合千葉や村内各種団体への推薦依頼、さらには、各地区役員との協力体制の構築などフル回転してもらいました。

総括責任者には高山昌治元村副議長に就任していただき「オール長生」が完成。これを見て、おそらく誰も手を挙げられなかったでしょう。

未来に向けて

今年は嬉しいことが待っています。

それは、私の前期からの公約であり夢であった、中央公民館の代替としての「長生村交流センター」が六月にオープンし、さらに八積駅南口駅前広場の「ラウンドアバウト（環状交差点）」が十二月完成予定です。

住民の皆様には、交流センターを生涯学習の充実、出合いの場、子育て相談など大勢の方に「ご利用いただきたい」と思います。

また、駅南口は今まで大変危険でした。これからは、自動車は矢印にそってゆっくり回り、送り迎えの駐車スペースも確保されており、安全、安心を感じられることでしょう。

この二つの八積駅周辺環境整備事業第一期工事の効果をさら



南口のラウンドアバウト交差点完成予想図

に高めるには、北側から進入する都市計画道路と北口駅前広場の整備、ならびに南北自由通路としての駅橋上化を目指す第二期工事が必要です。

しかし、新型コロナウイルスの終息は見通せず、今年度以降の税収が大きく落ち込む心配でありさらに給食センターや認定こども園建設の構想もあり、今後の財政状況を見極めなければなりません。

「そんなに駅前周辺にお金をかけず、私達にも手厚い援助を」との切実なご意見もいただいております。もちろん、常に住民福祉の向上を考え、教育、産業、健康など全村民が安全で安心して暮らせるよう邁進してまいります。

村長のつぶやき

「横断歩道を渡ろうとする人がいたら、車は止まらなければいけない」と道路交通法にあるのを忘れている人が多い、と昨年新聞で読みました。

ある朝、中央公民館前で中学生が自転車を押めて渡るのを待っていたので車を止めました。対向車もスピードを落とし止まりました。中学生が頭を下げながら渡った後、お互いに手を上げて、「良かったね。」と微笑み合いました。



ライスセンター前の横断歩道

その日は、保健センターで検診があるのでライスセンターに車を止め、道路を渡ろうと横断歩道の前で立っていたところ、左から来た車は止まるどころか、スピードも落とさず走り去りました。村民でないことを祈りますが、運転者の皆さん、歩行者（特に小中学生、高齢者）にやさしい長生村にしませんか。

女性部

「ススランの会」活動報告



令和三年の新しい年を迎え、会員の皆様には益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

六月には、待ちに待った生涯学習の拠点となる交流センターが完成します。新しい施設を活用して、女性としての知識向上のための講演会、免疫力を高める料理講習会等の活動をしたと考えております。

しかし、これらの活動をするには、新型コロナウイルス感染が続いている間は困難であると思っています。

平穏な日常生活に戻りましたら、今まで通りに小高村長を囲み村政についてのお話を聞き、明日の長生村に関心をもち、地域社会に貢献するボランティア活動等をしていきたいと思います。